

済生会小樽病院看護部キャリア開発ラダー評価表兼認定証 (レベルV)

承認者	次長	認定者	部長

A できている  
B 時々できている  
C ほとんどできていない

所属 ( ) 氏名 ( )

レベル毎に求められる役割		多職種との連携を図り、リーダーシップを発揮しながら所属部署の課題を解決する		評価者		
レベル毎の定義		より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する				
カテゴリ		評価内容				
レベル毎の目標		ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる		自己評価	課長評価	
看護実践能力	ニーズをとらえる力	1	複眼的な視点から迅速に患者の状況をとらえ判断し、複雑な状況や多様なニーズをとらえ、必要な介入を判断できる	A B C	A B C	
		2	患者に対し、疾患の予後と治療による影響や退院後の生活を予測した上で、患者を取り巻く多様な人々がもつ情報の重要性を理解し、情報収集して患者と家族(または患者を取り巻く人々)の価値観とすり合わせ、多角的な側面からニーズをとらえることができる	A B C	A B C	
		3	地域全体を俯瞰して、ニーズに対して不足している機能に気づき、他施設等に働きかけることで解決を図ることができる	A B C	A B C	
	レベル毎の目標		最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する			
	ケアする力	1	どのような複雑な背景や状況にあっても、最適なケアをすることができる	A B C	A B C	
		2	コミュニケーションに長けており、各患者に最適な対応ができる	A B C	A B C	
		3	ケアの開発のための努力を継続して行うことができる	A B C	A B C	
		4	患者の疾患の予後と治療による影響により、患者の希望に沿った生活が困難な状況であっても、患者の希望や価値観、尊厳を尊重し、新たな生活の可能性を広げるケアを提案す流ことができる	A B C	A B C	
		5	急変時には、複雑な病態の患者においても、原因や今後の展開を予測しながら、患者及び家族(または患者を取り巻く人々)への対応と今後への準備ができる	A B C	A B C	
	レベル毎の目標		ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす			
	協働する力	1	連携にあたっては全体を俯瞰し、まわりを動かすことができる	A B C	A B C	
		2	多職種を中心に巻き込み、各職種が役割を効果的に発揮できるよう、各職種の役割を明確化し、チームの目標を共有し、結束して関わることでできるような連携を促進する。カンファレンスにおいては、中心となって各職種を尊重しながら、問題解決へ導くことができる	A B C	A B C	
		3	看護チーム内では、看護師が役割を効果的に発揮できるよう調整を行うことができる	A B C	A B C	
		4	多職種との連携において、病院内だけでなく病院外との複雑な調整ができる	A B C	A B C	
		5	自施設に不足している機能に気づき、補完するために資源を活用できる	A B C	A B C	
	レベル毎の目標		複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる			
	意思決定を支える力	1	患者と家族(または患者を取り巻く人々)が自ら決定できたり考えたりすることができるように積極的に踏み込んで関わるなかで、意図的に医療チームを動かし、意思決定プロセスを支援できる	A B C	A B C	
		2	患者と家族(または患者を取り巻く人々)の思いは日々変化していることを念頭に、多角的な視点から患者と家族(または患者を取り巻く人々)を尊重し寄り添い続けることができる	A B C	A B C	
		3	複雑な意思決定場面において、患者の尊厳を尊重した意思決定のために、適切な資源を積極的に活用し、調整できる	A B C	A B C	
		4	倫理的問題を把握し、患者を取り巻くすべての人を巻き込み行動できる	A B C	A B C	
5		倫理的問題を把握し、スタッフが解決に向けた行動ができるための支援ができる	A B C	A B C		
マネジメント能力	レベル毎の目標		安全な医療を提供するために関係する職種とともに協働する			
	安全管理	1	組織の安全文化の醸成を推進できる(所属部署のリスクマネジメントを考え指導できる)	A B C	A B C	
		2	所属部署内の医療安全及び院内感染対策について関係する職種に働きかけることができる	A B C	A B C	
		3	患者の安全が守られるようにスタッフの行動に気を配り指導できる	A B C	A B C	
		4	災害発生時は状況把握、患者・職員の安全確保を行い、上司に報告できる	A B C	A B C	
		5	災害・防災対策について教育的役割を発揮できる	A B C	A B C	
		6	所属部署のインシデントレポートから業務改善に取り組むことができる	A B C	A B C	
	レベル毎の目標		業務改善に取り組み、経営に参画できる			
	経営参画 (質の評価と業務改善)	1	医療器材の点検・整備の必要性について指導・管理をできる	A B C	A B C	
		2	効果的(経営的視点)な看護実践について継続的に見直し、改善できる	A B C	A B C	
レベル毎の目標		多職種との連携を図り、所属部署の時間管理を推進できる				
時間管理	1	多職種と連携を図り、業務分担や業務調整を行い、時間管理を指導できる	A B C	A B C		
レベル毎の目標		医療に関する情報を把握し、看護の質向上に役立てる				
情報管理	1	病院の経営管理に関する情報に関心をもち、情報収集できる(平均在院日数、病床稼働率、看護必要度、褥瘡発生率、アクシデント発生数等)	A B C	A B C		
	2	情報管理について指導できる(守秘義務、電子カルテ取扱上の注意点等)	A B C	A B C		
	3	収集した情報から安全で質の高い看護の提供へ活かすことができる	A B C	A B C		
教育・研究能力	レベル毎の目標		組織における教育的な役割を率先して発揮できる 看護研究を実践・活用し看護の質を高める			
	教育・研究	1	適切な看護サービスを提供するために、マネジメントについて学習できる	A B C	A B C	
		2	教育的な関わりのためのスキルについて学習できる(病院・組織運営のための研修に参加など)	A B C	A B C	
		3	所属部署の教育計画の企画・運営に参画できる	A B C	A B C	
		4	研修や講演会への参加を呼びかけ、学習できる雰囲気をつくる(スタッフに学習への動機付けを行う)	A B C	A B C	
		5	看護研究から得た成果を臨床に応用できる	A B C	A B C	
		6	所属部署の課題解決に向けて研究を支援できる	A B C	A B C	
		7	スタッフへの教育的な助言・指導ができる	A B C	A B C	
レベル毎の目標		自施設の目標達成に向けて、多職種と協働できる				
組織的役割遂行能力	組織的役割遂行	1	チーム医療の推進に向け調整的役割を発揮できる	A B C	A B C	
		2	所属部署の課題に対して、チーム全体で問題解決に向けた行動ができるよう指導できる	A B C	A B C	
		3	病院の方針を理解し、多職種と連携・協働できる	A B C	A B C	
		4	看護に関わる政策や医療経済を理解できる	A B C	A B C	

評価日: 年 月 日